

第9回県西地域活性化推進協議会 結果概要

(H30. 3. 22 13:30~15:00 於：神奈川県小田原合同庁舎 3階会議室)

○ 開会

○ 知事あいさつ

黒岩知事

本日はお忙しい中、県西地域活性化推進協議会にお集まりいただき、心から感謝申し上げます。

平成26年に立ち上げた県西地域活性化プロジェクトも、スタートから4年が経過した。

4年目となる今年度は、県西地域の新たな魅力の創出に向けて、民間企業等による地域資源を活用した事業の支援を開始したほか、県西地域全体へのにぎわいを創出するため、県西地域の「未病を改善する」拠点の連携による回遊促進にも積極的に取り組んできた。

「未病いやしの里の駅」の登録施設数も約180施設となるなど、プロジェクトの取組も一層、充実していくなか、来月28日には、いよいよ未病バレー「BIOTOPIA(ビオトピア)」の第1期オープンを迎える。

ビオトピアは未病をテーマとした、ほかに例のない施設で、約60ヘクタール、東京ドーム13個分もの広大な敷地を生かし、「食」「運動」「癒し」を通じた様々な未病改善の取組を実践することができる。

ブルックスホールディングスさんでは、例えば地元食材を活用したレストラン、地元特産品やオーガニック商品等を提供するマルシェ、森林セラピーなどのアクティビティを提供する森のがっこうなどをオープンする。

私どもも「未病」に関する総合的な普及啓発などを行う施設、「me-byo エクスプラザ」をオープンさせる。

多くの方にビオトピアに来ていただき、その賑わいが県西地域全体に波及するよう、皆様と一丸となって取り組んでいきたい。

本日は、今年度の取組状況として、委員の皆様からも御報告をいただけるということで、協議会で情報を共有し、意見交換を行うため、会議を開催させていただいた。

限られた時間ではあるが、プロジェクトの更なる展開のために、忌憚のない議論をお願いしたい。

- 「平成 29 年度の県西地域活性化プロジェクトの取組状況」、「未病バレー『BIOTOPIA(ビオトピア)』」及び「平成 30 年度の県西地域活性化プロジェクトの取組」について、民間事業者、大学、市町及び事務局から説明*。

(※) ㈱T-FORESTRY、(一社) かながわ西観光コンベンションビューロー、㈱横浜銀行、㈱陽報、小田原短期大学、東京農業大学、小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、㈱ブルックスホールディングス及び事務局

○ 質疑・意見交換

慶応大学渡辺教授

4年前と比べるとものすごい進歩である。今年は無病バレー「BIOTOPIA(ビオトピア)」がオープンするので、県西無病観光コンシェルジュもここを拠点にして各市町の取組を一挙で紹介できるよう、一体感を持って県西地域全体を盛り上げていかなければならない。

湯河原町長

ビオトピアの整備にあたっては、障がい者の受け入れという視点も、今後ぜひ検討いただきたい。

小田原市長

県西部では「神奈川県西部広域行政協議会」があり、そこで真鶴町長からも、オリパラに向けても県西地域2市8町で一体となって取り組む切り口が必要だという話があった。以前から考えていたことでもあるが、無病関連の拠点をめぐる際、県西地域は鉄道とバスを使えば大体どこでも行けるが、そういった公共交通の一体的運用には至っておらず、利用者が自分で調べて回っているような状況である。よって、公共交通を使った移動について、交通事業者が連携して、例えば共通のパスのようなものがあると色々な拠点に自由に行けるようになるので、今後研究していきたい。

知事

これだけの市町、事業者、大学が無病改善に取り組んでいるというのは、本当にすごいことである。

無病バレー「BIOTOPIA(ビオトピア)」オープンは、エポックメイキングな出

来事で、そこに行けば未病のすべてがわかるだけでなく、2市8町に行きたくなる施設にしていきたいので、ビオトピアに全てを集約していく流れをつくっていききたい。

障がい者が来場するという事は、まさに重要な視点である。先日、赤レンガ倉庫前で開催したイベント「みんなあつまれ」では、多くの人に来場いただいた。津久井やまゆり園事件が起きて、「ともに生きる社会かながわ憲章」も含めた精神を広く深く浸透させようということであったが、障がい者の皆様も集まって、アートや音楽、料理など様々なものを提供していただき、みんなが一体となって楽しむことができた。アートなども人気があったが、パラスポーツがとても盛り上がった。こうしたものを提供することで、みんなが一体となって楽しめる場を作れる。

モビリティの点では、具体には様々な検討をしていきたいが、現在公開している観光サイト「Day Trips from Tokyo to Kanagawa」では、自分の行きたい観光地を入力すると、使用する交通機関を含め提案する、というサービスを提供している。ぜひこういったものも活用いただきたい。

「未病」というコンセプトでこれだけ色々な取組が行われているので、もっとPRしていく必要がある。いま、「未病スタイル」という流れを作っている。未病スタイルアンバサダーという、様々な未病に関する分野の女性が集まって、色々な提言をしているが、ハイセンスで仰天した。一体となって盛り上がるには、ブランド力が大切である。未病ブランド、未病スタイルブランドというものを作っていくと、色やマークが入ってくると感覚的にわかってくる。そういう流れの中で、一体的に盛り上げていきたい。

また、かなチャンTVの「かなかなかぞく」でも新しいキャラクター、未病改善ヒーロー「ミビョーマン」が登場した。子どもからの未病対策の中心人物になってくると思うが、こうした新しいキャラクター展開も進めていきたい。

皆様の創意工夫を県としても総合的にまとめて、大きな力にしていきたい。

○ 閉会